

株式会社ジェイコム東京 足立局
放送番組審議会 議事録

2021 年度の放送番組審議会は、2022 年 3 月 25 日（金）に足立局 6 階で開催された。

＜放送番組審議会委員＞

ご出席

大 兼 茂 子 様
齋 藤 幸 枝 様
岸 良 圭 祐 様
神 保 義 博 様
三 石 美 鶴 様
鈴 木 健 嗣 様

（50 音順）

ご欠席 なし

事業者である足立局長大林から局の現況について報告があった。
互選により審議会会長、副会長を選任、会長に齋藤幸枝様、副会長に大兼茂子様を選任した。

【審議 質疑応答】 齋藤会長による進行

冒頭、J:COM プロダクション本部 映像制作第一部より本会の審議内容である番組について概要説明と一部の番組について映像紹介があった。

■ 番組制作についてのご意見、ご要望

（委員）

※東京都広報コンクール 足立区、3 部門で最優秀賞の紹介を受けて

受賞のために業務をしているわけではないのですが率直にうれしいですし、励みになります。今後も、伝えるだけでなく「伝わるもの」を心がけていきたいと思います。

また、オリパラ関連で進めてきたオランダ連携プロジェクトが今年度で終了しました。今回のプロジェクトでスペシャルクライフコートを整備しましたが、これからも障害者スポーツの取り組みについてみなさまのご協力をいただければと思います。

（委員）

コロナ禍によりほとんどのスポーツ大会が中止になりました。感染させない取り組みが必要な状況ですが、制限がある中でもできるスポーツもあるはず、と考えています。練習をしてきた参加者にはとても残念なお話になっており、何かできることを模索しています。

（委員）

障害者スポーツについては、クライフコートはぜひ活用していただきたいです。まだまだご利用いただけますので。

（委員）

コロナ禍のため、商店街はこのままだと死んでしまう。どうにかしたいという気持ちはあるが、同時に役員や理事の人も感染が怖いという意識があり、イベント開催には二の足を踏んでいる状況です。非接触型のイベントでもよいので何かできないものかと考えています。感染者数が減っているとはいえ、厳しい状況は変わっていません

（委員）

感染対策の工夫には、どのようなものがあるのか。具体例がわかり、共有できるといいですね。

（委員）

番組取材での感染対策は、実際にどのようにされていたんですか。

（事業者）

取材のインタビューには ZOOM を活用していました。現地に行けない場合は、イベントの様子をスマホで動画撮影してもらい、そのデータを送ってもらう、という方法もありました。

感染者が急増したときは取材活動自体が自粛となりましたが、稼働できるようになってもオフィス内の人数を減らすため出社を 2 班の交代制としました。二酸化炭素濃度の計測をしていた時期もありました。

（委員）

ニュースで紹介していた「いい風呂キャンペーン」などの紹介は、銭湯の実情が伝わってよかったと思います。

（委員）

「ねづっち散歩 X」で紹介していた、クライフコートでの「ラダーゲッター」。とても楽しそうでした。あのようなゲームができることを知ることができてよかったです。機会があれば参加してみたいと感じました。

（委員）

「ねづっち散歩」で取材した場所が Web のマッピングでわかるようにすると良いのでは、と思いました。アーカイブ化することで取材の情報がさらに生きてくるのではないかと感じました

（事業者）

たしかにマッピングによる情報があれば、とても便利になると思います。

（委員）

商店街の来客者はケータイを使いこなせる人が少ないため、デジタル商品券よりも紙の商品券のほうが圧倒的に多く利用されています。今後は、デジタル商品券の利用者がもっと増やせるような情報発信をコミュニティチャンネルの番組等で放送してもらえると助かるのですが。

（事業者）

ご要望に関連するものとして、少しだけですが「1分でわかる！J:COM スマホ教室」という短尺番組をランダムに放送しています。ご要望については、今後も検討していきたいと思います。

（委員）

デジタルについては、専門用語がわかりづらい。「ID」「アプリ」などのデジタル用語自体がよく分からない。テレビで用語がわかるような情報発信があるとうれしいです。

（委員）

「こども夢の絵コンクール」は良い取り組みだと感じました。「居酒屋秀ちゃん」ではとても良いお話が聞けました。

（委員）

「居酒屋秀ちゃん」は出演者の本音のトークが聞けて、とても楽しい番組ですね。

（委員）

いま商店街では空きが出ると居酒屋の出店希望がたくさん来ます。それらをすべて受け入れると「居酒屋通り」になってしまうため、ほぼお断りしている状況です。商店街としては物販店が少ないのでぜひ増やしたいのですが。

（事業者）

商店街でのリアルイベント「あだちサントウオーク」はここ2年開催できておりません。再開したいのですが、ボランティア協力していただいた東京未来大学さんの学生さんが戻ってきてくれるのか心配な部分があります。

（委員）

「ふくあじ」という番組は、どのようにしてお店を選定されているのですか。

（事業者）

小山薫堂さん監修のもとお店を選定しています。味はもちろん、お店を営む方の人柄も重視しています。これから取材するお店について、みなさまからのご推薦も承ります。

（委員）

お店の情報については、足立区役所とJ:COMさんの間で連携をされているのですか。

（委員）

報道広報課は「広報する」のが基本です。J:COM さんが得意分野としているテレビをはじめ、インターネットなどのさまざまな媒体がありますが、広報する内容に応じて、それぞれの得意分野の方々と連携していくことが大事だと考えています。

（委員）

様々な情報媒体のなかでも、広報紙のような紙媒体は減少していますが、ぜひ連携を続けていただき、「伝わる」広報を行ってほしいと思います。

（委員）

デジタル技術が得意でないという方々にとって、紙の商品券でなくスマホ商品券が使えるようになることさらに便利ですし、ぜひそのような世の中になるといいですね。

閉会（事務局）

委員の皆さんからの貴重なご意見をたくさんいただきました。ご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていきたいと存じます。

以上